

## ぎふ農業・農村を支える人材育成

### ■新規就農者・研修生 JAめぐみの集合研修

JAめぐみの管内の研修拠点等の研修生は、主に実技中心の実践研修をしており、それを補完する講義として集合研修が開催されている。

1月28日の「GAP」の講義では、農業普及課が講師を務め、GAP（農業生産工程管理）の概要や、ぎふ清流GAP評価制度の紹介、実践のポイントおよび改善事例紹介などを行った。

2月4日の最終講では、全14回の講義のうち9回以上の出席者に修了証が授与され、中濃管内では2名が該当した。

農業普及課では、新規就農者の育成と営農定着に向けて、集合研修や新規就農者への重点巡回指導などに取り組んでいく。（地域支援係）



【講義の様子】

### ■新規就農者 青年等就農計画の認定検討会議

現在、就農に向けた研修中の2名が、令和4年度に美濃市での就農を予定しており、農業普及課はこれまで、就農から5年間の経営収支や施設等導入計画を盛り込んだ青年等就農計画認定申請書の作成を支援してきた。

2月10日、美濃市防災中央コミュニティセンター会議室で、この2名の青年等就農計画認定検討会議が行われ、主催の美濃市と関係機関であるJAめぐみの、岐阜県農業共済組合中濃支所、農業普及課が出席して、認定の要件を満たす内容であるかを検討した。

就農予定の2名も会議に出席して自身の就農計画を説明し、美濃市及び関係機関から質問を受けたが、高い就農意欲があり、就農後のビジョンも明確であった。

農業普及課では、就農に向けた支援を継続するとともに、就農後もフォローアップ農家として重点的な支援を行っていく。（地域支援係）



【会議の様子】

### ■ぎふ清流GAP評価制度 農場評価

2月8日、関市内の土地利用型の法人が、米でぎふ清流GAPの農場評価を受け、農業普及課も同席した。

評価はおよそ4時間かけて、栽培記録等の書類確認、農薬保管庫等の現地確認が行われ、改善が必要な箇所について、評価員から適宜説明を受けた。今回評価を受けた法人は、水稻の乾燥調製を外部に委託しており、委託先への監督の記録等についても説明を受けた。

今後、農業普及課では、一次結果報告書の結果を受けて生産者が行う是正について引き続き支援していく。また、関係機関と連携しながら、食品安全や環境保全、労働安全等に配慮したGAPの推進を進めていく。（地域支援係）



【農場評価の様子】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■円空さといも 円空さといも生産組合新規説明会

2月1日、関市小瀬のJAめぐみの施設にて、円空さといも生産組合新規説明会が開催され、新規に栽培を希望する3名が出席した。

最初に組合長が、栽培での苦労話や農福連携の取り組みについて挨拶した後、農業普及課が栽培管理や病害虫防除について説明した。JAめぐみのからは、経営試算や組合への加入手続き、栽培日誌等への記入方法の説明に加え、来年度実施する就農塾を紹介し、就農塾で学習しながら栽培することを提案した。出席者からは、ほ場の排水対策や植付の委託などについて、積極的に質問があった。

農業普及課では、今後も新規栽培者への栽培指導を重点的に実施し、産地支援を行っていく。（地域支援係）



【説明会の様子】